

八江秘名所圖画 附録

八江秘名所圖画

附録

H2

0

074
184
3740



八江藝名所圖畫附錄

目錄

新明倫館 同圖

好生館

姚舍壠別 同圖

新明倫館
 私化三年明倫館御再興嘉永二年四月落成二
 月十八日聖廟釋典三月二日諸藩古始疆域二丁四方うて
 田り一溝渠を作り中央南面一聖廟を立つ觀德門南門あ
 り左一講堂あり能きて學主察及び官吏等の衙門あり右
 一諸の武藝の習古場うて都へて此處を演武場と号す又
 乾の方一練兵場あり大砲小銃の習古場うて操練悉ろ
 ことなうきて一月六暇を賜ふと五十の日を休日とす

江蘇名所圖面附錄

本館恒充 著述

山隈萬藏 相云

新明倫館

私化三年明倫館御再興嘉永二年四月落成二
 月十八日聖廟釋典三月二日諸藩古始疆域二丁四方うて
 田り一溝渠を作り中央南面一聖廟を立つ觀德門南門あ
 り左一講堂あり能きて學主察及び官吏等の衙門あり右
 一諸の武藝の習古場うて都へて此處を演武場と号す又
 乾の方一練兵場あり大砲小銃の習古場うて操練悉ろ
 ことなうきて一月六暇を賜ふと五十の日を休日とす

其餘の日ハ朝ハ卯の刻より出て夕ハ申の下刻より下宿す実

ニ廣大の誓古場よりて文武の諸藝怠惰すことなく他藩

ニ冠よりて著し

聖廟正壇木主建座大聖至成文宣王

古明倫館より

右脇木主建座袁國桓聖公同沂國述聖公

左脇木主同鄒國守聖公同鄒國亞聖公

右掛物程伯子神位張子神位朱子神位

左掛物周子神位程叔子神位呂子神位

釋典御次第

御升殿 既座 典儀相迎 專理相迎 簪帳 迎神焚香

總拜 御盥洗 御升壇 祝官進幣 御典幣 御降壇

典儀焚香奠供解饌齊郎進饌 奏樂 典儀焚香初獻介者

初獻盥洗 奏樂 祝文 初獻北面 典儀焚香亞獻介者

亞獻盥洗 奏樂 亞獻北面 典儀焚香終獻介者 終獻

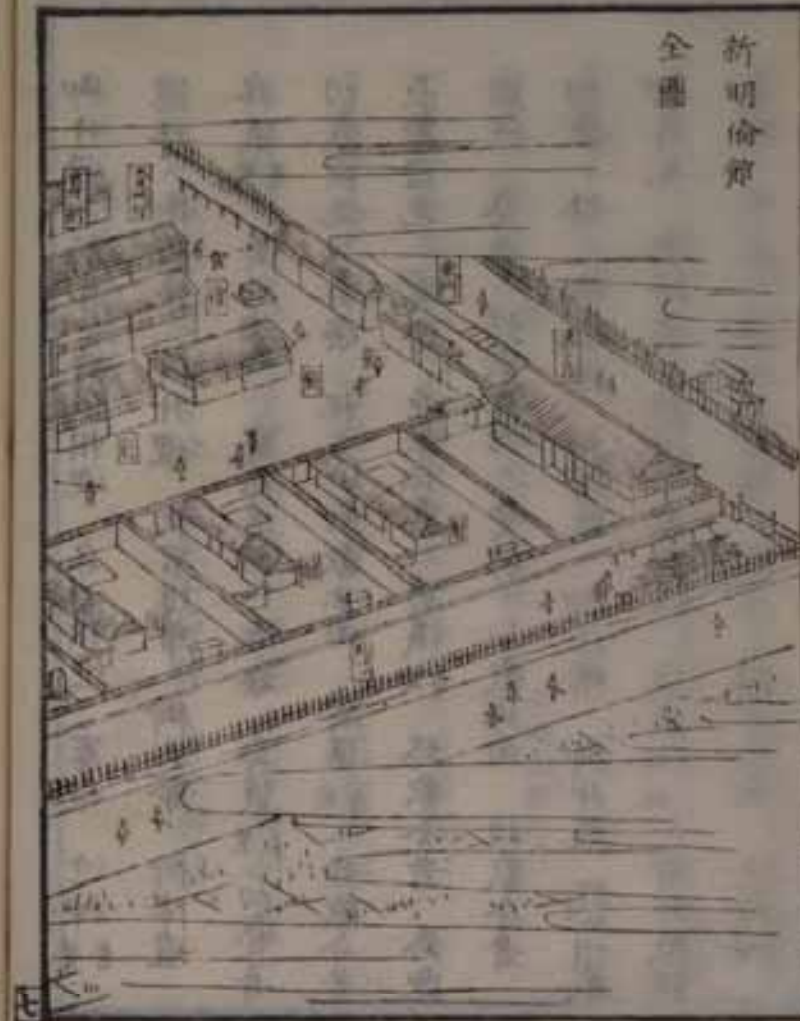
盥洗 奏樂 終獻北面 受酢 初獻北面 初獻介者

初獻拜 御香拜 御進殿 御仕儀 御升殿 酢酒頂戴

御目見 御辭城 總拜 典儀焚香奠供解饌齊郎獻饌

奏樂 見臺 講陣 徽幣 望座 獻官北面 送神焚香

新明倫
全圖



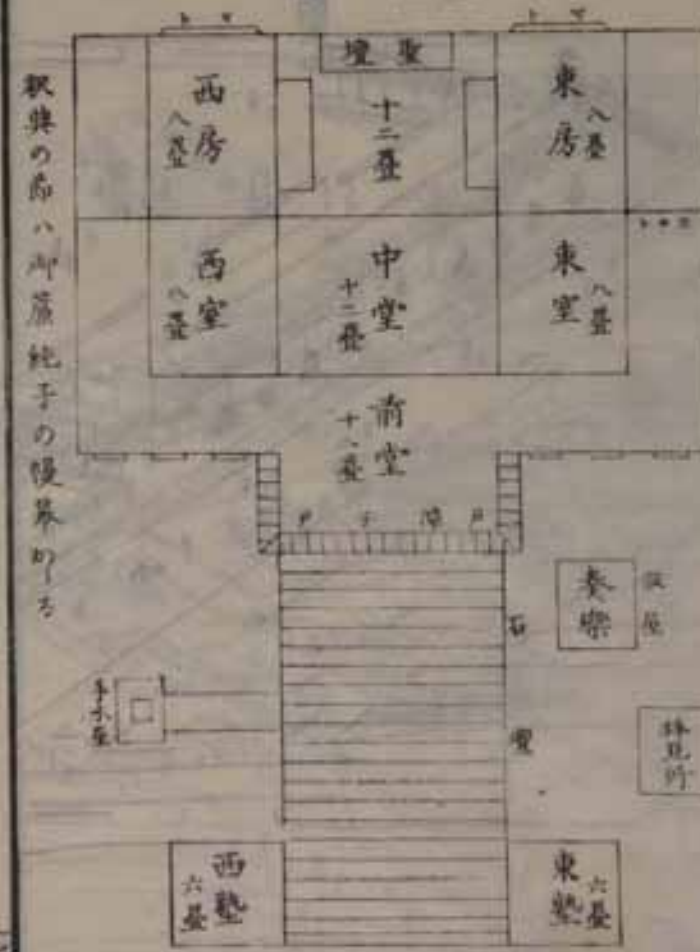
新明倫全圖



新明倫全圖



聖廟之圖



總拜 垂帳徹燭 起坐

位

聖廟ニ侍る
時の額
紅竹庵仁庵主
具殿

講堂

講堂ニ侍る
時の額
山田島千幸

本門并講堂式臺の額ハ古館の分を用ひられり
講堂ニ於てハ一ヶ月十二日即ち二三七八の日講釈餘日ハ十
三經より詩文よりよりとて會講怠りてこと
堂中ハ諸賢古授享保慶古館の分を掲げ又所より二面

をのりけりけり又正面より別々學生授け額を掲ぐ

田舎

學校之設遠才成德欲上焉以供國家之用下焉以便有所矜式其若斯也則學則非有盛於人歟抑亦屬肉也歟其有得風教雖抑未暇人將於我乎嘗為大清書學士者將以明經通史長養才德特用於他日不則學雖博乎文雖富乎亦無從行其矣諸生遊館下三年為一期度得平有餘日自納之通下而頌朝夕夜々務就功令猶且恐不及為一日之中遊惰竟時哉夫日年三年不下二三百日古者女功一月得四十五日加之以此之半也防惰之分有如此若鮮生以一日之長切而諸生之也今依故禁酒會居所刻少增慎定功令凡事无親預責無所歸諸會所長者一人為會長進退作息皆聽命而會長聽命都講都講聽命學長學長聽命先師之命又立直日一人諸生輪次當直以董學務其制略左其甚暇勿違

七

功令

一卯時開板而與聖教結束升堂溫清經書

一辰時開板下堂入所會食々畢入會暖茶

一巳時開板就筆各食其會若謂日則開板上堂講畢入會各就其業

一未時開板入所會食々畢入會暖茶除會當外遊息便心若欲出校并

事若告假花出館長不在則告都講及西時必歸館以事留外幾役

肅清此其事由諸館長許乃得出去

一酉時開板就筆

一亥時開板罷業就安若欲卒業者聽及子時不許違且

一直日生一名諸生勤水當直並習當日學務凡業南見設期會板親實

客應酬姻客謂項皆在所管時々備視列會警初安業

一功令書業外各員則定仁業一經臨時請業館長錄上都講合板手

既已卒業更轉他處者亦如之明其一舟逢次載歸每歲六月十二月比

六

觀者甚多少以視殿最

一非父母尊長等呼他者緊要事故不得得出候門出則御郡講及直日生告學長而後出等則而學長若都講直日生

元文三年戊午二月朔

學長

演武場ハ八軒街場三所栗屋山縣岩崎の師家三軒馬街場二所藏田折下内藤仙波石黒の師家五軒劍街場四所内藤馬来平岡北川の師家四軒鎧街場三所岡部横地小幡の師家三軒其外大総師家五軒兵學同三軒禮式同二軒水軍同一軒大之地理一軒甲冑早着同一軒算術五軒無念流劍術等各督古場并ニ師家ありて日々替古所問をハ又東ニ當リ一字あり他

國の劍鎧修行者試合を多し時々又遠郡土着の者ハ舍自炊の場所あり練兵場ハ小銃神器陣の訓練大砲周旋臺の警古日々急るなり

講堂の北練兵場の南ニ於て公館を設け藩公時々御出ありて講釋を聴きし或ハ武場ニ臨みせられ親しく演武を御覽ありて大武の所獎勵遺す所あり

重建明倫館記

天下之事有守舊而不可易者有隨時而可變者其可變者而不變則固陋而足憂獨不然其不可易者而易之則害孽煩瑣百弊隨之

故如廟堂之大經國家之重典固當萬世守之而不易焉至制度文
為時勢或有窒礙者又不可不一新而變通之矣昔 秦祖公之創
明倫館也蓋將大興學以張治化乃量度時宜相地於城門之內以
經營焉而人倫教化之道上而文武進士之法備矣爾來迄今百三
十年列世相承雖志述事文武講習之士日增月多昔之所經營今
也狹隘殆不能容非宏其規模而增其式廡則不得適時勢之宜矣
及 今侯立而丕承遺緒宵旰匪懈思以紹明前烈乃命宰臣曰欲
張其末者必厚其本欲進其流者必浚其源學校者政治之本教化
之標治國之丹宜先也而 先公創建規模既備矣今又廓而宏之
豈非繼述之道也邪汝其與有司議之於是執政與有司得謀乃就
府下中央之地而別擇寬敞之區重營其宮肇工於弘化丙午春
告成聖廟居中殿堂巍然門懸脩整泮水環之結構之壯繪畫之美

於舊有印為講堂在其西虎廚學會相次而西東則為演武之場北則
為練兵之區小學有堂肆孔有舍天文書算之場射圃馬之埭亦
盡具焉而後暨也蓄水可以習水騎講堂之北設公館為 公臨學
而養老試士之司而四外廡以講塾大門在南以正方面於是學校
之制煥然大備矣而明倫之名不易其舊者何也蓋 先公建學文
武進士其重以明人倫為重也文武之學不本諸倫理則文流於浮
華武陷於暴厲不足以進士矣故凡入學者先以明人倫為基本而
講究文學精練武事資之以師友勉之以歲月以成其德性其材然
後齊多士可以贊治辦政而宣風化之美矣訓以武夫可以衛君
衛國而為邦家之干城矣是固所以建學進士之本意而治化之所
以由行也且建學進士蓋獨守其封疆而已哉所以為國家之藩屏
也而其要希於明人倫則其名館之義不亦至重乎是所謂守舊而

不可易者也。若大宣會之位、置向背、學政之際、令節日、常臨時、量宜而相增損、爲然則、今僕之園、重建乃所以授其可變者、而守其不可易者也。雖成命臣、猶爲之記、賴以承之、學職不得辭、謹叙重建之由、以繼先臣孝孺之所紀云。

嘉永三年歲次己酉春三月

館祭酒山縣禎文祥謹撰

館内總地坪數壹万五千百八十四坪餘

富職 松田刑部

土木專務員藏元而人中谷市左衛門

好生館

八下御殿の東にあり、嘉永年間の創建に係り、醫

家の子弟入學の所とす。講堂、學舍、並に備へ、漢蘭の醫書、講義課業目に急ちり、かつ又一月六日種痘の術を施させ

られ、國內の民其澤を被るもの幾万人と云ふを、ちよび、實に廣大なり。御仁徳と云ふへ。

施倉堀割

鶴江臺と長春山の間を施倉と云ふ、近年御城下度

度の洪水より、諸士屋敷町、家民屋共水押し入り、田畠損害多く、上下困難せざるを歎くを、これ所を堀割り、水勢緩殺き舟楫の便利を圖りせられ、嘉永六年の春、鐵炮安政二年の夏、落成せり。總長四百拾九間、幅十五間、役夫大凡そ三十壹百人、船役二万六千餘艘、日數九百餘日を費せり。古來稀なる大工事にして、以來洪水の患ひ更に少く、

健倉城之圖



天

健倉城之圖



天

海よりも深き御遺徳のちと誰う感戴せしむらんや

當職 毛利筑前 專務御用掛康檢使布施虎之助

此明倫館再興好生館新設健全印刷の如きは 慶親公
の厚き恩恵によりて成就しうるものにてその教化徳澤
のちと深きれいに附録と爲して一冊につづりて畢りぬ
見ん人々々々すへ

八江蘇名所圖画附録終

本邦大人の呼ぶところの江蘇はもとより江蘇省なり
すかきものとも三千年ありけり月日計ささひきり年大に變
異行て今さうの方よりあるとあらうものと思わす
まき耳の蘇木を蘇木とよまひさのよみゆのよきを
のよみの遠きなりは久しむ底に秘するなり
とて取りおとめられんを思ふとを思ふなり
よみゆのよみゆに借りおとめられんを思ふとを思ふなり
よみゆのよみゆに借りおとめられんを思ふとを思ふなり
蘇林祠佛堂の壯麗なり四重の遊覽士女の風俗

常の所はもろくもたれまふもろくも古文をよみ偏頗
研文をよみ原の事と様とをいふまふにたれまふ地
よろめあてまふあふりもあふりもまふにたれまふ
もろくもよきまふりもろくも大人とやまふまふり
まふりもまふりもろくもまふりもろくもまふりも
まふりもまふりもろくもまふりもろくもまふりも
又他國の位置地をいふもろくもまふりもろくも
まふりもまふりもろくもまふりもろくもまふりも
まふりもまふりもろくもまふりもろくもまふりも
まふりもまふりもろくもまふりもろくもまふりも

果てんものなりとて古文をよみ諸書をよみ
あつたの月日を費やし我を増補なりとの嘆
謝ふもろくも果てんものなりとて我を増補なりとの嘆
りぬれぬもろくも事ありつゝもろくもまふりもろくも
維新は時代なりとて我を諸侯のおおきく朝廷に
うけまふりたれまふりもろくもまふりもろくも
誠をよみまふりもろくもまふりもろくもまふりも
の書とわたりもろくもろくもろくもろくもろくも
ろくもろくもろくもろくもろくもろくもろくも



20
2

萩市立萩図書館



111524278